

## 特別講演 1

### 「新しい心血管イベント危険因子

### 『食後高脂血症』を考慮した高脂血症治療戦略」

大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授

森下 竜一 先生

如何にコレステロールを多く摂取するかが課題であった日本人も、いまや如何にコレステロール摂取を少なくするか悩むようになった。これも食生活の欧米化が背景にあり、現代日本人のコレステロール摂取量は増加の一途を辿り、それに伴い高コレステロール血症患者も増加している。最近、コレステロール吸収亢進と脳・心血管イベントとの関連性を示唆する疫学調査が報告され、コレステロール吸収制御の重要性が注目されている。特に、食後高脂血症の脳梗塞発症に対する影響が注目されている。本講演ではコレステロール吸収亢進と脳・心血管イベントとの関連性、吸収制御がもたらす Additional Benefit など、吸収をめぐるトピックスを紹介するとともに、小腸コレステロールトランスポーター阻害剤による、メタボ時代の食後高脂血症を視野に入れたコレステロール治療の重要性について紹介する。